

水辺の妖精 クリンソウ

6月13日、民間のバスツアーにクラブ員6名が参加して中禅寺湖千手ヶ浜のクリンソウを見に行き来しました。

クリンソウはサクラソウ科の花で、花が円状につき、数段重なる姿がお寺の屋根にある「9輪」に似ていることが名前の由来だそうです。そのクリンソウがちょうど見頃という中禅寺湖千手ヶ浜に向かい出発です。千手ヶ浜近辺は豊かな自然を守るため一般車両の乗り入れが禁止されており、赤沼車庫で低公害バスに乗り換えが必要になります。バス停から10分、緑の林の中に、赤紫、ピンク、白色の花をつけたクリンソウの群生地に着きます。水辺に映ったクリンソウの花達は周りの緑に映え、実に清しく癒される思いです。

そして、奥日光三名瀑の一つ、竜頭の滝と「見ざる、言わざる、聞かざる」の三猿で有名な日光東照宮。陽明門、鳴き龍、眠り猫もしっかりと見学し、江戸時代の職人さん達の技の凄さにただただ驚嘆するばかりでした。

朝は雨模様ながらクリンソウを鑑賞するときは陽も差し、その後は急にあたり一面深い霧になったりと山の天気急変に驚かされたりの日でした。そうそう、途中でバスのトラブルがあり観光バスの代車に乗換というめったにない経験もおまけつきでした。

